

保存版

岩通マルチコミュニケーションシステム

EVDS

伝言システム

とりつきジョーズ EM-10-B

取扱説明書

- このたびは岩通伝言システム 伝言システム とりつきジョーズ EM-10-B をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書は、伝言システム 伝言システム とりつきジョーズ EM-10-B の機能を十分生かしていただくため、ご使用前に岩通マルチコミュニケーションシステム EVDS 取扱説明書とあわせて必ずお読みいただき、正しくお使いください。

お客様メモ

お買い求めになった販売店（工事店）名と設置の年月日をご記入ください。修理を依頼される時や、お問い合わせのときに便利です。

設置年月日	年	月	日
設置店名			
住所			
電話番号			

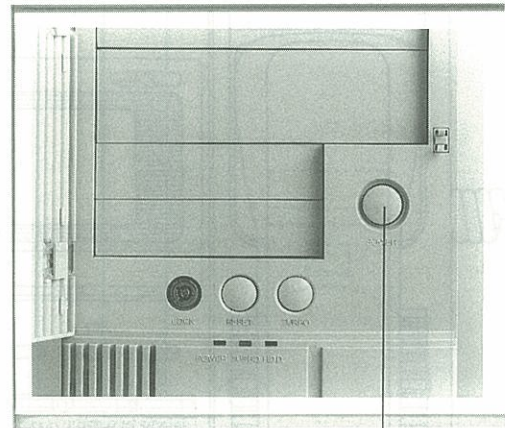
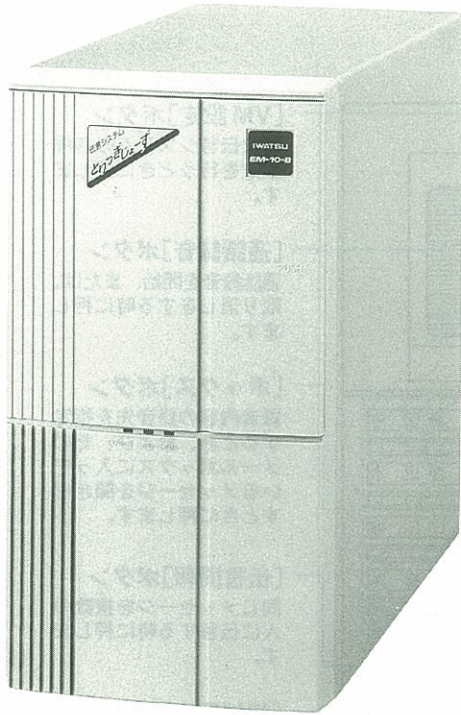
IWATSU

もくじ

1	伝言システム とりつぎじょーず の構成	1
	A. 伝言システム本体	1
	B. オプション・保守用品	1
	C. 電話機とファンクションキー	2
2	上手にお使いいただくために	3
3	伝言システム とりつぎじょーず の使い方	4
	A. かかってきた電話を録音するとき（自動通話録音）	4
	(1) 録音先の指定	4
	(2) 録音先の変更	5
	(3) 録音の取り消し	5
	(4) ポケットベル／携帯電話の呼出	5
	B. 録音内容を聞くとき	6
	(1) 自分あての録音内容を聞く（録音内容再生）	6
	C. 外出先から録音内容を聞くとき	7
	(1) 内部の人に操作してもらって録音内容を聞く（とりつぎ再生）	7
	(2) プッシュホンを操作して録音内容を聞く（リモート再生）	8
	D. 留守番電話として使うとき	9
	(1) 留守番電話の設定と解除	9
4	伝言システム とりつぎじょーず のさらに便利な使い方	10
	A. 手動通話録音	10
	(1) 通話の途中で録音を開始する	10
	(2) 録音先を指定しないで自分のボックスに録音する	10
	B. 伝言録音	11
	(1) 内部の人に伝言する（伝言録音）	11
	(2) 録音した内容を複数の人に伝える（伝言同報）	11
	(3) 同報宛先の設定	12
	C. 録音内容の処置	13
	(1) 録音内容を振り分ける（録音内容転送）	13
	(2) 再生中の各種操作	13
	D. 応答メッセージを選ぶ	14
	(1) 留守番電話として使用する場合の応答メッセージを選択する	14
	(2) 応答メッセージを録音する	15
	E. 外出先からの伝言録音	16
	(1) 内部の人に操作してもらって伝言する	16
	(2) プッシュホンを操作して伝言する	16
	F. ポケットベル／携帯電話呼出の設定	17
	(1) ポケットベル／携帯電話の呼出方法を設定する	17
	(2) 電話番号を登録する	18
	(3) ポケットベルへのメッセージを登録する（表示付ポケットベル対応）	18
	G. 暗証番号の設定	19
	H. 名前の録音	20
5	伝言操作一覧	22
6	表示一覧	24
7	停電のとき	24
8	故障とお考えになる前に	25

1. 伝言システム とりつきじょーず の構成

A. 伝言システム本体 (EM-10-8)



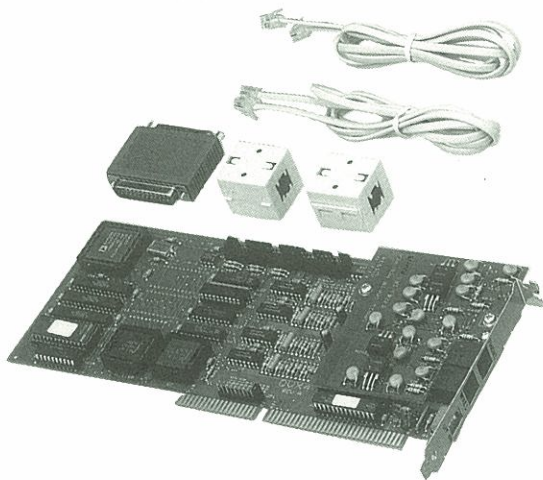
電源スイッチ



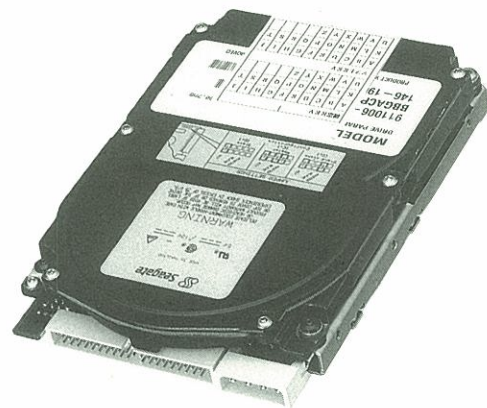
注意

- ①電源スイッチを切るときは、必ず正しい手順(25ページ)で行ってください。
- ②その他のスイッチは、お手を触れないようお願いします。
- ③設置場所は、温度：5～35℃、湿度：20～80%(非結露)としてください。

B. オプション・保守用品



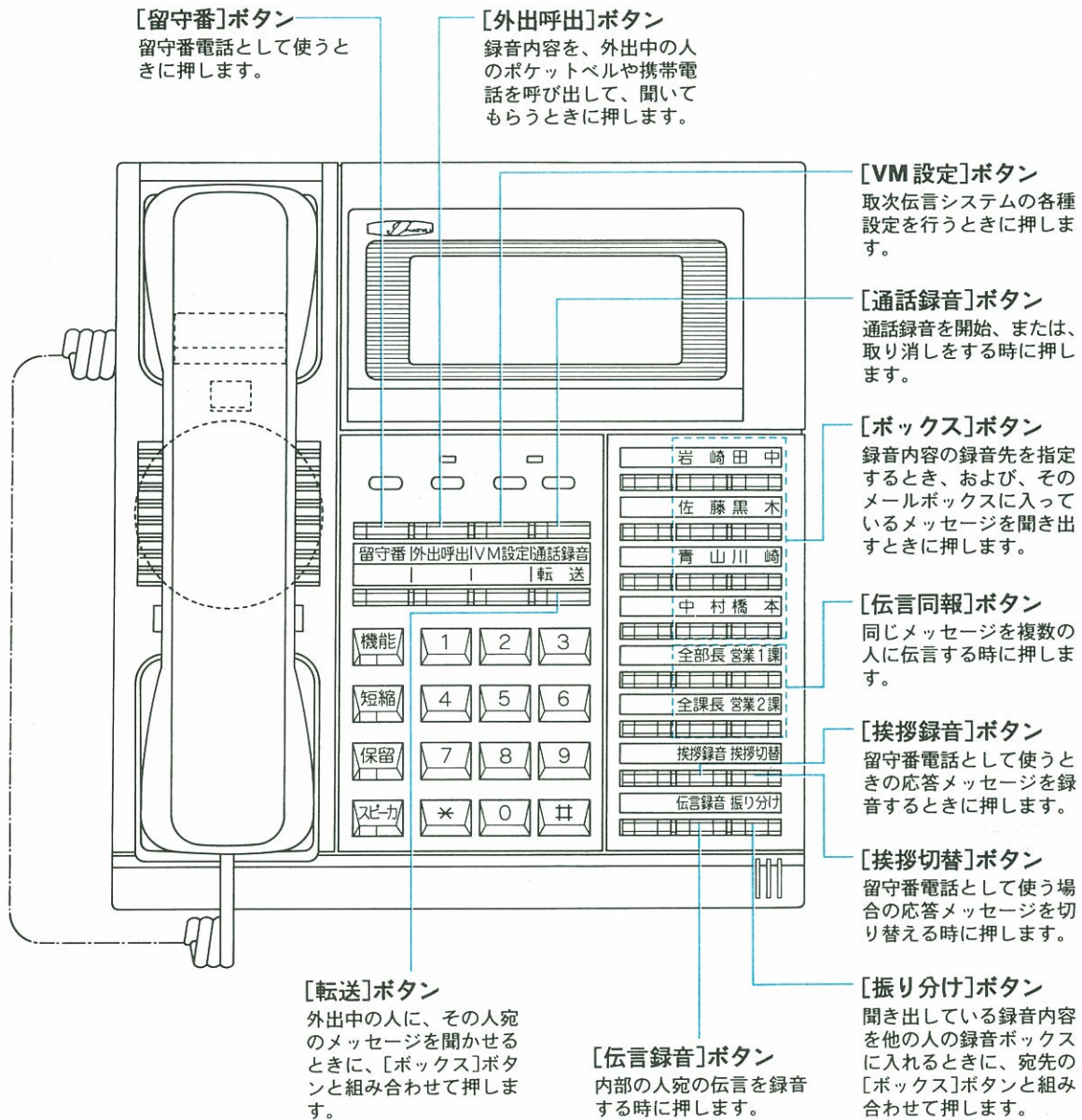
EM-10-8増設セット



ハードディスク

ハードディスクおよび電源ユニットは、3年ごとに定期交換が必要です。尚、交換費用は有償となりますので、あらかじめ、ご了承ください。

C. 電話機とファンクションキー



2. 上手にお使いいただくために

1. テレビ、ラジオなどから2 m以上離してご使用ください。(条件によって、雑音の入る場合があります。) また、強力な電波、高周波を発生する機械などを近づけないでください。



2. 電話機、システムコントローラ(EVDS主装置)、伝言システム本体、コネクタなどに水やコーヒーなどをかけることは、絶対に避けてください。(万一、かかってしまった場合は、いったん、電話機のコード(裏面のコネクタ)をはずし、お買い求めになった販売店にご連絡ください。)



3. 電話機、コネクタなどを、お買い求めの販売店に相談なく変更しないでください。(故障の原因となります。)



4. 電話機、システムコントローラ(EVDS主装置)、伝言システム本体などシステムを構成している機器は、絶対にあけないでください。

5. お買い求めの販売店に相談なく、他の機器を接続しないでください。(法律に違反したり、故障の原因となります。)

6. シンナー、ベンジンなどで、電話機、システムコントローラ(EVDS主装置)、伝言システム本体等をふかないでください。(汚れがひどいときは、台所洗剤などの中性洗剤でふきとり、やわらかい布でからぶきしてください。)



7. 電源コンセントは、必ず、AC100Vをお使いください。

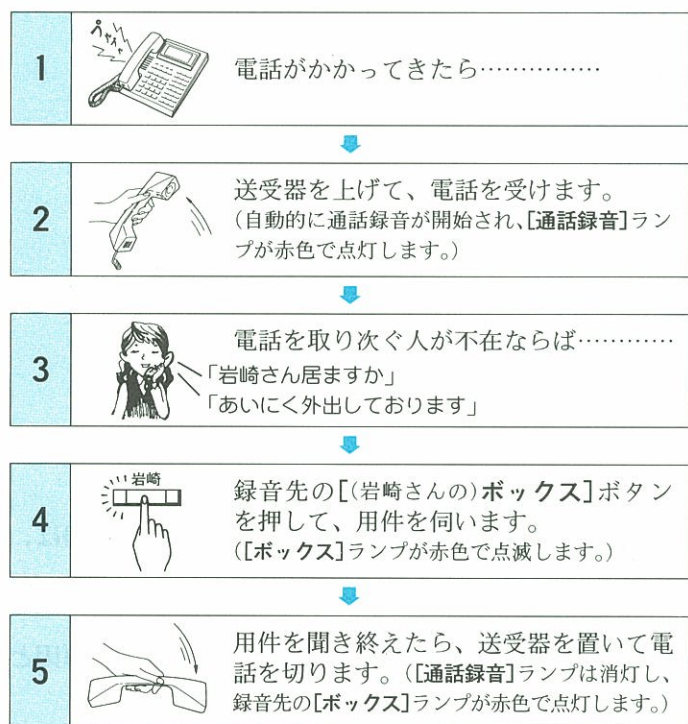
8. 電源コンセントの抜き差しは、必ず、システムコントローラ(EVDS主装置)と伝言システム本体の両方の電源スイッチを切ってから行ってください。(電源スイッチを切っているときは、システムは動作できませんので、ご注意ください。)(伝言システム本体の電源スイッチは、正しい手順([25ページ](#))で切ってください。)

3. 伝言システム とりつきじょーず の使い方

A. かかってきた電話を録音するとき (自動通話録音)

- 内線の電話機ごと、または、グループごとに、1つの録音ボックスが割り当てられます。
- 1つずつの録音ボックスには、対応するファンクションキー ([ボックス]ボタン) があります。
- 録音ボックスは、電話機に割り当てられた [ボックス] ボタンによって、録音内容を入れたり、聞き出したりすることができます。
- また、[ボックス] ボタンのランプが点灯しているときは、対応する録音ボックスに録音内容が入っていることを示します。

1 録音先の指定



備考

自動的に通話録音を開始する電話機は、設置工事時にあらかじめ設定が必要です。また、設定により、電話を受けた時だけでなく、かけた時にも自動的に録音開始するようにできます。(詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。)

注意

- ① [ボックス]ボタンを押さないで(点滅している[ボックス]ランプがないときに)電話を切りますと、通話は録音されません。
- ② 自動通話録音を行っている場合でも、送受器を上げて電話を受けてから、録音を開始するまでに、少し(2～3秒)時間がかかります。

備考




- ① 会議通話は、録音できません。
- ② 録音および再生は、同時に実行できる組数に限りがあります。(同時録音/再生組数は、通常4組までですが、システムにより異なります。ご不明の点は、お買い求めの販売店にお尋ねください。) [録音]ランプが点灯しないときは、録音できません。
- ③ 通話録音をしているときに保留操作を行うと録音は一時停止し、保留応答したときに録音を再開します。このとき、保留操作の前に指定した録音先および呼出予約などは全て取り消されますので、保留応答した後に改めて録音先指定操作およびポケットベル/携帯電話呼出の予約操作を行ってください。
- ④ 録音先の指定を行わないで電話を切っても、録音内容を保存するように設定することもできます。(詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。)
- ⑤ 伝言システム全体の録音容量(約10時間)、または、1つの録音内容の録音上限時間(約30分)を超えて録音することはできません。

注意

応答する人、および、相手の方に無断で通話録音することは、プライバシーの侵害になる場合があります。通話録音していることを通話している人にお知らせして、ご使用ください。

2 録音先の変更

1の4の操作を終えて、用件を伺っているときに、録音先を変更する必要があるら……




5		「では、この件を田中さんに伝えてください」
6		変更する録音先の〔(田中さんの)ボックス〕ボタンを押します。 (〔(岩崎さんの)ボックス〕ランプの点滅は止まり、〔(田中さんの)ボックス〕ランプが点滅します。)
7		送受器を置いて、電話を切ります。

備考

録音先の変更は、何度でもできます。(最後に押した(ランプが点滅している)〔ボックス〕ボタンに録音されます。)

3 録音の取り消し

1の4の操作を終えて録音先を決めた後で、録音する必要がなくなったら……




5		「えーと、こちらからかけ直しますのでけっこうです」
6		〔通話録音〕ボタンを押します。 (〔ボックス〕ランプの点滅が止まり、〔通話録音〕ランプは消えます。)
7		送受器を置いて、電話を切ります。

注意

一度、ランプが点灯している〔通話録音〕ボタンを押して録音を取り消しますと、再度〔通話録音〕ボタンを押しても、録音されるのはそれ以降の内容です。

4 ポケットベル／携帯電話の呼出

1の4の操作を終えて、用件を伺っているときに、緊急に連絡する必要があるら……

5		「至急、返事をください」
6		〔外出呼出〕ボタンを押します。 (〔外出呼出〕ランプが赤色で点灯します。)
7		送受器を置いて、電話を切ります。

備考

電話を切る前に、再度〔外出呼出〕ボタンを押すと、〔外出呼出〕ランプが消え、ポケットベル(または携帯電話)の呼出予約は取り消されます。

注意

- 録音先があらかじめポケットベル(または携帯電話)呼出の設定を行っていないと、呼出予約を行っても呼出しできません。(17、18ページ)
- 外出先を呼び出せないとき、および、応答しないときは、約5分後に再度呼び出します。(再呼出しは、3回で打ち切ります。)

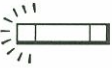
8	この後、伝言システム本体が、ポケットベル(または携帯電話)を呼び出して、用件が録音されたことを知らせます。 「岩崎さんにメッセージがxx件あります」	
---	---	--


備考


- 外出先でポケットベル呼出しを受けたときは、外出先から録音内容を聞いてください。(7、8ページ)
- 外出先で携帯電話等を出されたとき、暗証番号を設定している場合は、プッシュホンで暗証番号をダイヤルすると、録音内容を聞くことができます。


B. 録音内容を聞くととき


1 自分あての録音内容を聞く（録音内容再生）


1  自分あての録音があったら……………


2  送受器を上げて……………
(ツーツーツーツーという内線発信音が聞こえます。)


3  自分の[ボックス]ボタンを押します。


4  録音内容が聞こえます。
「例の件はどうなってますか」

5  録音内容を1件聞き終わるごとに、録音内容の処置を問い合わせてきます。

6  録音内容の処置をダイヤルします。
(通常はダイヤル[1]を押して、聞き終わった録音内容を消去します。)

7  更に消去の確認を問い合わせてきますので、もう一度、[1]をダイヤルしてください。

8  録音内容を全て聞き終わると、終了ガイダンスが聞こえます。
「ありがとうございました」

9  送受器を下ろします。

注意

自分宛の録音があるのに15日以上聞かないでいると、自動的に消去されます。

備考

- ①空き局線自動捕捉設定の電話機は、②の操作の前に[内線]ボタンを押してください。
- ②暗証番号を設定している場合は、③の操作の後に暗証番号(4桁)をダイヤルします。
- ③同じ録音ボックスの録音内容を複数の電話機から同時に聞くことはできません。このような場合は、ガイダンスが聞こえますので、後ほど聞きなおしてください。
- ④録音内容の再生前に、タイムスタンプ(録音した曜日と時刻)が案内されます。

備考

録音内容を後で聞き直す必要があるときは、⑥の操作で[1]の代わりに[2]をダイヤルします。([2]をダイヤルして保存を指定すると、更に15日間保存されます。)

備考

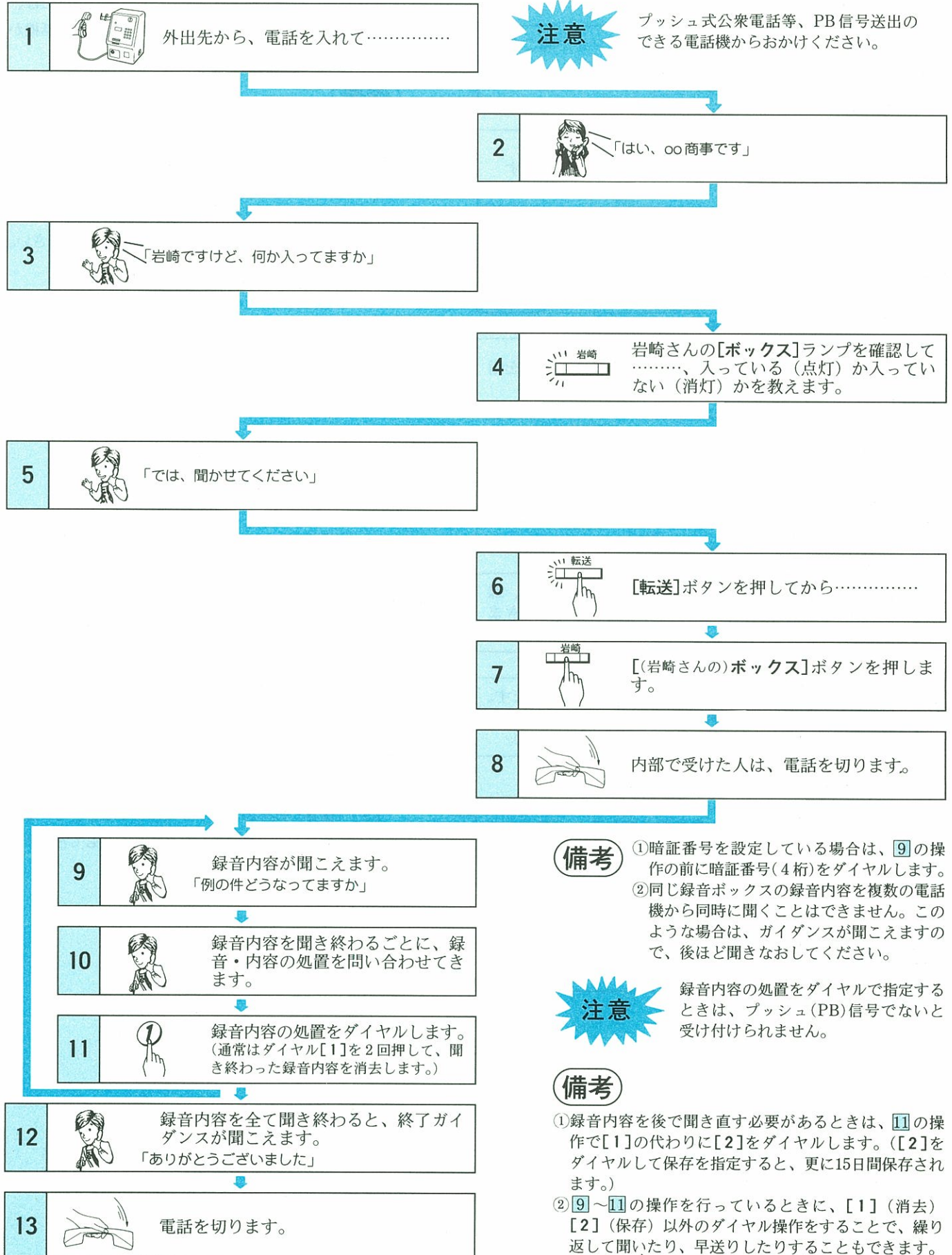
- ⑥でダイヤル操作をしないで録音内容の処置を指定しないと、約6秒たつと自動的に次の録音内容または終了ガイダンスが聞こえます。この場合は、その録音内容は聞かれていないものとして録音後15日間の保存対象になります。
- ④～⑥の操作を行っているときに、[1](消去)、[2](保存)以外のダイヤル操作をすることで、繰り返して聞いたり、早送りしたりすることもできます。(13ページ)

注意


伝言システムの録音時間は、システム全体で最大約10時間です。録音内容は、なるべく速やかにお聞きになった上で消去してください。保存されている録音内容が多くなると、新たな録音ができなくなったりして、システムの動作に支障をきたすことがあります。


C. 外出先から録音内容を聞くとき


1 内部の人に操作してもらって録音内容を聞く(とりつぎ再生)





2 プッシュホンを利用して録音内容を聞く(リモート再生)


1  外出先から電話を入れます。
(伝言システム呼出番号にかけます。)


2  ボックス番号入力ガイダンスが聞こえます。
「ボックス番号をどうぞ」


3  自分のボックス番号をダイヤルします


4  サービス機能番号入力ガイダンスが聞こえます。


5  [1]をダイヤルして、リモート再生を指定します。

6  録音内容が聞こえます。
「例の件どうなってますか」

7  録音内容を聞き終わるごとに、録音内容の処置を問い合わせってきます。

8  録音内容の処置をダイヤルします。
(通常はダイヤル[1]を2回押して、聞き終わった録音内容を消去します。)

9  録音内容を全て聞き終わると、終了ガイダンスが聞こえます。
「ありがとうございました」

10  電話を切ります。

注意

外出先から、直接、伝言システムに電話をかけるには、専用の電話番号が必要です。また、プッシュ式電話機からおかけください。

備考

- ①暗証番号を設定している場合は、[3]の操作の後に暗証番号(4桁)をダイヤルします。
- ②同じ録音ボックスの録音内容を複数の電話機から同時に聞くことはできません。このような場合は、ガイダンスが聞こえますので、後ほど聞きなおしてください。

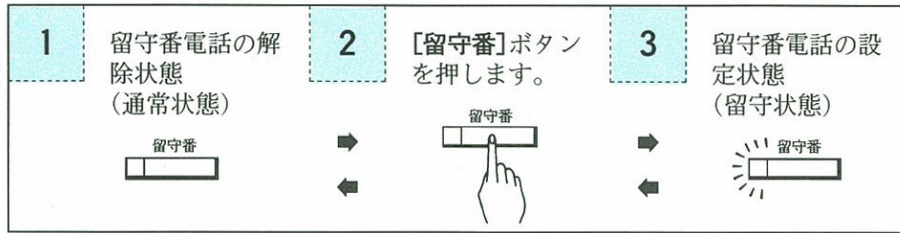
備考

- ①録音内容を後で聞き直す必要があるときは、[8]の操作で[1]の代わりに[2]をダイヤルします。([2]をダイヤルして保存を指定すると、更に15日間保存されます。)
- ②[6]～[8]の操作を行っているときに、[1] (消去)、[2] (保存) 以外のダイヤル操作をすることで、繰り返して聞いたり、早送りしたりすることもできます。
(13 ページ➡)

D. 留守番電話として使うとき

1 留守番電話の設定と解除

あらかじめ指定された特定の電話機から、以下の操作を行うことで、留守番電話の設定と解除ができます。




備考


- 留守番電話としてお使いになるには、あらかじめ、留守番電話用の録音ボックスを決めておく必要があります。(お買い求めの販売店にご相談ください。)
- 留守番録音された内容をお聞きになるときは、留守番電話用の録音ボックスの[ボックス]ボタンを使用します。
(録音内容再生 [6 ページ](#))
- 留守番電話用の録音ボックスに入れられた録音内容を、内容に応じて各自の録音ボックスに移すこともできます。
(録音内容転送 [13 ページ](#))
- 個人の留守番電話として使うときは、不在転送設定(→「EVDS 取扱説明書」)をして、転送先に伝言システム本体を登録します。(伝言システム本体の登録番号は、お買い求めの販売店におたずねください。)
- 留守番電話の解除をしたときに、録音内容があると、自動的にスピーカから再生をはじめます。再生がはじまった場合は、録音内容を聞くととき([6 ページ](#))、および録音内容の処置([13 ページ](#))の操作を行ってください。
- 留守番録音の録音上限時間は、1件当たり約5分です。また、相手の方の声が小さいときなど、途中で録音を終了することがあります。


4. 伝言システム とりつきじょーず のさらに便利な使い方


A. 手動通話録音


1 通話の途中で録音を開始する

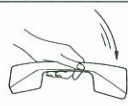
1  通話中に……………

2  [通話録音]ボタンを押します。

3  [通話録音]ボタンのランプが点灯し、通話録音を開始します。

4  録音したい用件が終わったら……………
「かしこまりました、岩崎が戻りましたら申し伝えます」


5  録音先の[(岩崎さんの)ボックス]ボタンを押してから……………


6  電話を切ります。


備考

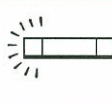
- ①[通話録音]ボタンのランプが点灯しているときは、通話録音中です。このとき、[通話録音]ボタンを押すと、録音の取り消し(5 ページ)になります。
- ②一度、録音を取り消しますと、再度、[通話録音]ボタンを押しても、録音されるのは、それ以降の内容です。

2 録音先を指定しないで自分のボックスに録音する

1  通話中に……………

2  [通話録音]ボタンを押して、通話録音を開始します。

3  用件が終わったら、そのまま電話を切ります。

4  自分の録音ボックスに録音内容が入り、[ボックス]ボタンのランプが点灯します。

備考



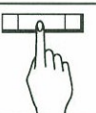




通話を開始すると同時に録音を開始する(自動通話録音 4 ページ)場合でも、録音先の指定を省略して自分のボックスに録音することができます。

備考

- ①録音先を指定しないで自分のボックスに録音するためには、あらかじめ、電話機ごとに設定が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。
- ②他の人への録音内容を自分のボックスに録音して、後で、その録音内容の録音先を変更することもできます。
(録音内容転送 13 ページ)

B. 伝言録音

① 内部の人に伝言する(伝言録音)

-  送受器を上げて……………
-  [伝言録音]ボタンを押します。
-  伝言する相手の[ボックス]ボタンを押します。
-  伝言をお受けする旨ガイダンスが聞こえます。
「メッセージをどうぞ」
-  開始音が聞こえたら、用件をお話してください。
「これから出かけますので……………」
-  用件を話し終わったら、すぐに、[1]をダイヤルします。(伝言する相手の録音ボックスに録音内容が入ります。)
-  電話を切ります。








備考

伝言する相手の[ボックス]ボタンが、割り当てられていないときは、伝言先のボックス番号をダイヤルしてから[井]をダイヤルします。

備考

伝言録音の録音時間は、1件につき最大30分までです。


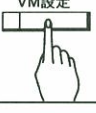







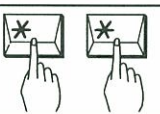

② 録音した内容を複数の人に伝える(伝言同報)

-  送受器を上げて……………
-  [伝言録音]ボタンを押します。
-  伝言する複数の相手に対応する[伝言同報]ボタンを押します。
-  伝言をお受けする旨ガイダンスが聞こえます。
「メッセージをどうぞ」
-  開始音が聞こえたら、用件をお話してください。
「明日の会議は……………」
-  用件を話し終わったら、すぐに、[1]をダイヤルします。(伝言する相手の録音ボックスに録音内容が入ります。)
-  電話を切ります。

備考

- ①[伝言同報]ボタンに対応する複数の宛先をあらかじめ登録しておく必要があります。
- ②伝言同報は、すべての宛先に録音内容を配り終わるまでに少し時間がかかります。
(10箇所の録音ボックスに配る場合で、30秒から1分程度かかります。)

3 同報先の設定

- 1  送受器を上げて……………
- 2  [VM設定]ボタンを押します。
- 3  伝言システム とりのつぎじょうず が応答
します。
「……………を入力してください」
- 4  メニューのガイダンスが聞こえたら、
[4]をダイヤルします。
- 5  設定項目のガイダンスが聞こえたら、
[5]をダイヤルします。
- 6  ガイダンスが聞こえたら、宛先を登
録する同報ボックスのボックス番号
をダイヤルします。
- 7  操作ガイダンスが聞こえたら、[2]
をダイヤルします。
- 8  宛先入力ガイダンスが聞こえたら、
宛先の録音ボックスのボックス番
号をダイヤルします。
- 9  ボックス番号受付ガイダンスが聞
こえます。
- 10  宛先の登録が終わったら、[*]
[*]をダイヤルします。
- 11  送受器を下ろします。

備考

同報先の設定操作を行える電話機は、あらかじめ決められた特定(通常、内線番号201)の電話機です。

備考

自分の録音ボックスに暗証番号(19ページ)を設定している場合は、4の操作の前に、暗証番号をダイヤルしてください。

備考

ご使用になれる同報ボックスの番号は、システム設定時にあらかじめ決められています。(通常“001”～“020”ですが、詳しくはお買い求めの販売店におたずねください。)

備考

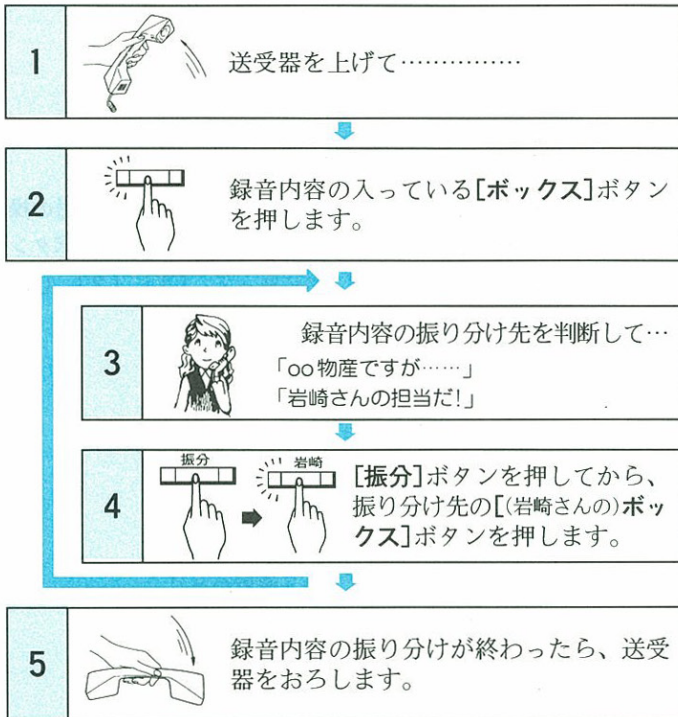
設定する宛先(録音ボックス)を7～9の操作を繰り返して登録します。

備考

他の同報ボックスの宛先設定を続けて行うときは、10の操作のあとに、6の操作にもどって登録します。

C. 録音内容の処置

1 録音内容の振り分け(録音内容転送)



備考

暗証番号を設定している場合は、②の操作のあとに暗証番号(4桁)をダイヤルします。

備考

④の操作で、[ボックス]ボタンの代わりに[伝言同報]ボタンを押して、特定の録音ボックスではなく複数の録音ボックスに振り分けることもできます。また、振り分け先の[ボックス]ボタンが割当てられていないときは、ボックス番号をダイヤルしてから[井]をダイヤルします。

2 再生中の各種操作

録音内容を聞いているとき、及び、録音内容の処置を指定するときには、ダイヤル操作によって以下のことができます。

1 消去	2 保存	3 リピート
4 先頭再生	5 タイムスタンプ	6 スキップ
7 巻戻し	8 ポーズ/再開	9 早送り
✖	0 ガイドンス	井

- ダイヤル[1]を押すと……………(消去)
聞いていた録音内容を消去してよいかどうかを、再度、問い合わせてきます。更に[1]を押すと、録音内容は消去されます。(この問い合わせに対して[1]以外のダイヤルを押すと、録音内容の消去しないで、次の録音内容の再生に移ります。)
- ダイヤル[2]を押すと……………(保存)
聞いていた録音内容が、更に15日間保存されます。
- ダイヤル[3]を押すと……………(リピート)
聞いていた録音内容を、もう一度、再生します。
- ダイヤル[4]を押すと……………(先頭再生)
録音ボックスに入っている複数の録音内容を、最初から再生し直します。
- ダイヤル[5]を押すと……………(タイムスタンプ)
タイムスタンプ(録音した曜日と時刻)を、知らせます。
- ダイヤル[6]を押すと……………(スキップ)
次の録音内容を、再生します。
- ダイヤル[7]を押すと……………(巻戻し)
聞いていた録音内容を、少し(約4秒分)戻して、再生します。
- ダイヤル[8]を押すと……………(ポーズ/再開)
録音内容の再生を一時停止、または、再開します。一時停止したまま30秒たつと、自動的に再開します。
- ダイヤル[9]を押すと……………(早送り)
聞いていた録音内容を、少し(約4秒分)進めて、再生します。
- ダイヤル[0]を押すと……………(ガイドンス)
再生中の各種操作を、案内します。

D. 応答メッセージを選ぶ


1 留守番電話として使用する場合の応答メッセージを選択する

1  送受器を上げて……



2  [挨拶切替]ボタンを押します。




3  現在選択されている応答メッセージが聞こえた後に、ガイダンスが聞こえます。

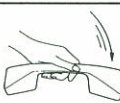


4  選択する応答メッセージの番号（ダイヤル1桁）をダイヤルします。



5  選択した応答メッセージが、確認のため再生されます。



6  送受器をおろします。

備考


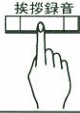





個人の留守番電話としてお使いになる場合は、**②**の操作で[挨拶切替]ボタンを押す代わりに、[VM設定]ボタンを押してから、ガイダンスに従って、[3]、[2]、[4]の順にダイヤルします。

備考

応答メッセージは、以下の3種類があり、“1”～“3”の番号に対応します。

- 1：終業後の応答メッセージ
- 2：一時不在時の応答メッセージ
- 3：外出時の応答メッセージ

2 応答メッセージを録音する

- 1  送受器を上げて……………
- 2  [挨拶録音]ボタンを押します。
- 3  現在録音されている応答メッセージを再生した後に、ガイダンスが聞こえます。
- 4  開始音が聞こえたら……………、新しい応答メッセージを録音します。
- 5  録音が終了したら……………、[1]をダイヤルします。
- 6  新たに録音した応答メッセージが、聞こえます。
- 7  送受器をおろします。

備考

録音しないでご使用になると、伝言システムの標準応答メッセージが流れます。

応答メッセージの番号が1のとき、

「本日の業務は終了いたしました。伝言センターが承りますので、開始音の後に、お名前、お電話番号、ご用件をお願い致します。」

応答メッセージの番号が2のとき、

「ただ今、席を外しております。伝言センターが承りますので、開始音の後に、お名前、お電話番号、ご用件をお願い致します。」

応答メッセージの番号が3のとき、

「ただ今、外出しております。伝言センターが承りますので、開始音の後に、お名前、お電話番号、ご用件をお願い致します。」

備考

個人の留守番電話としてお使いになる場合は、②の操作で[挨拶録音]ボタンを押す代わりに、[VM設定]ボタンを押してから、ガイダンスに従って、[3]、[2]、[2]および録音するメッセージ番号(1～3)を順にダイヤルします。

備考


左の操作の場合は、現在選択されている応答メッセージが再生され、それを更新することになります。

備考

⑤の操作は、[1]の代わりに他の数字([2]～[9]、[0]、[*]、[#])をダイヤルしてもかまいません。

E. 外出先からの伝言録音


① 内部の人に操作してもらって伝言する


1  外出先から、電話を入れて……………


とりつき再生(7ページ) ②～⑧操作)と同じ要領で、内部の人にとりついてもらいます。
録音内容の再生が始まりますので、とりつき再生の操作(7ページ) ⑨～⑫)で、ひととおり聞き終わってから、以下の伝言操作を行います。





プッシュ式公衆電話等、PB信号送出のできる電話機からおかけください。

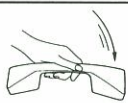
13  メニューのガイダンスが聞こえたら、[2]をダイヤルして伝言を選択します。

14  ガイダンスが聞こえたら、伝言する相手の録音ボックスの番号をダイヤルします。


15  開始音が聞こえたら、伝言を録音します。
「遅くなりますので……………」


16  録音が終わったら、すぐに、[1]をダイヤルします。


17  伝言が受け付けられた旨、ガイダンスが聞こえます。

18  電話を切ります。

② プッシュホン进行操作して伝言する

1  外出先から電話を入れます。
(伝言システム呼出番号にかけます。)

2  ボックス番号入力ガイダンスが聞こえます。
「ボックス番号をどうぞ」

3  自分のボックス番号をダイヤルします。

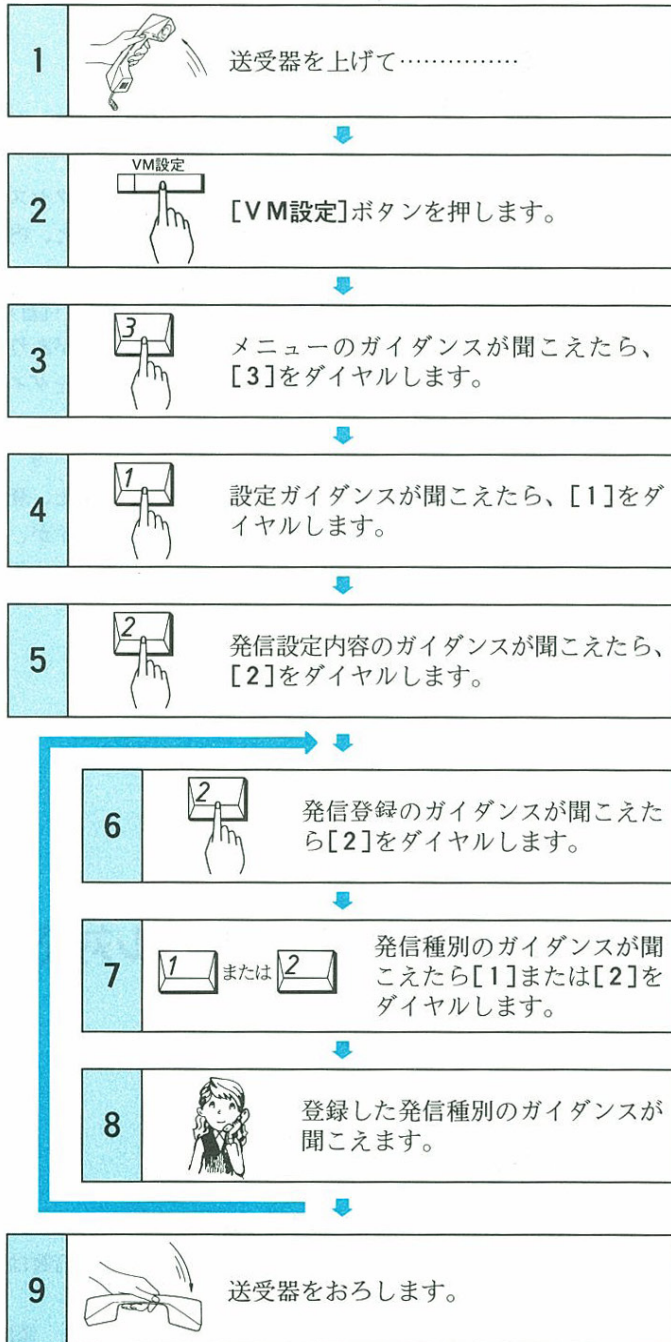
①の13～18の操作をして伝言します。

備考

- ① 外出先から、直接、伝言システムに電話をかけるには、専用の電話番号が必要です。また、プッシュ式電話機からおかけください。
- ② 暗証番号を設定している場合は、③の操作のあとに暗証番号(4桁)をダイヤルします。

F. ポケットベル／携帯電話呼出の設定

1 ポケットベル／携帯電話の呼出方法を設定する



備考

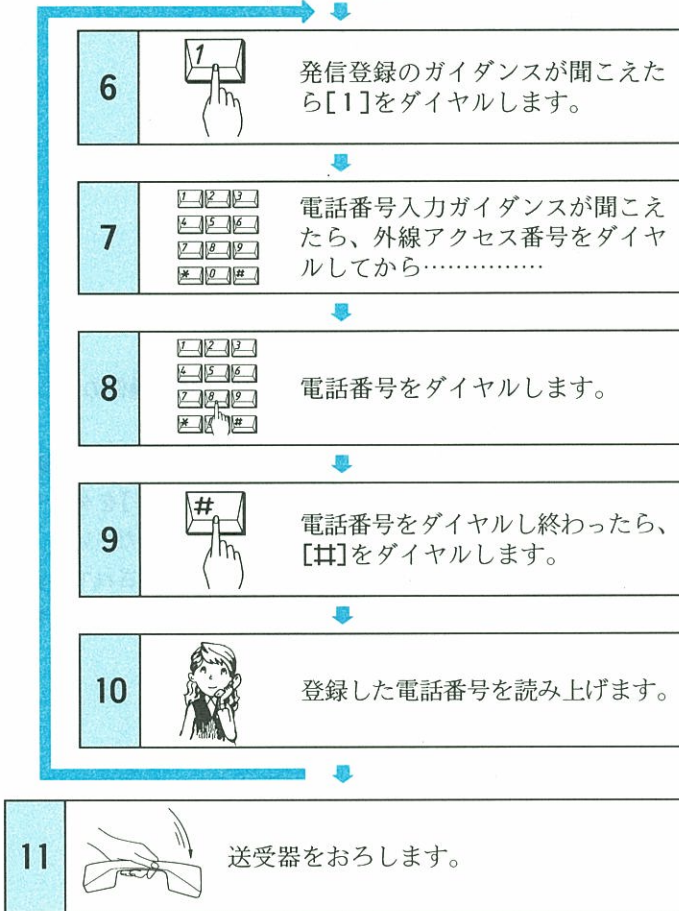
- ①暗証番号を設定している場合は、②の操作のあとに、暗証番号(4桁)をダイヤルします。
- ②複数の人(電話機)で共有している録音ボックスに設定、登録を行うときは、③の操作の前に[*]をダイヤルしてからボックス番号をダイヤルしてください。指定した録音ボックスに暗証番号が設定されている場合は、ひきつづき暗証番号(4桁)をダイヤルします。

備考

- ①⑦の操作で、[1]をダイヤルすると電話呼出の指定に、[2]をダイヤルするとポケットベル呼出の指定になります。
- ②呼出方法を電話呼出に指定すると、携帯電話だけでなく、外部の事務所の一般の電話機を呼び出すこともできます。

2 電話番号を登録する

●呼出方法の設定 (1) の 5 の操作に引き続き、以下の操作を行います。

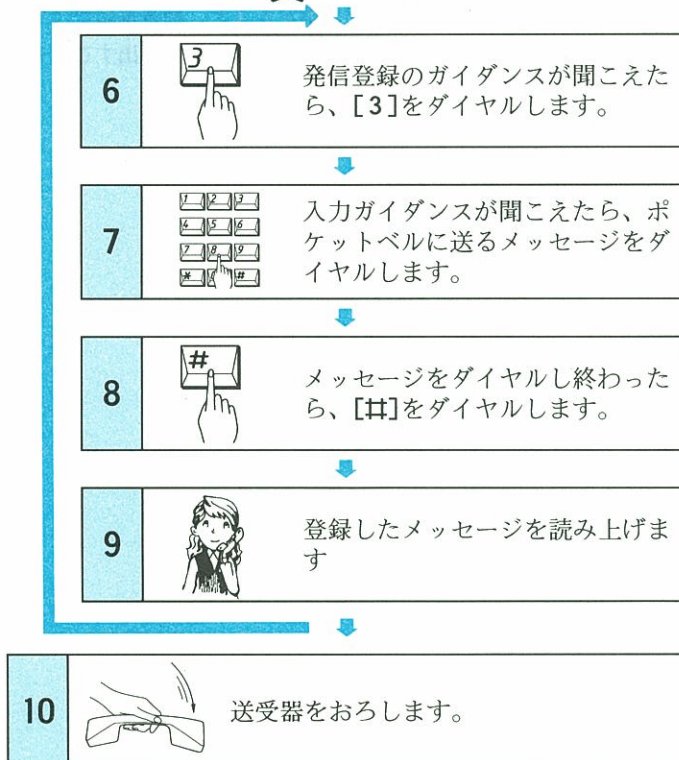


備考

- ① お客様のお使いのシステムの外線アクセス番号は、お買い求めの販売店におたずねください。
- ② 呼出方法を電話呼出に指定したときは、外線アクセス番号をダイヤルしない(7の操作を省略する)と、内線呼出しになります。
- ③ システムの設置条件によって外線アクセス番号(7)と電話番号(8)の間に、ポーズが必要な場合があります。外線アクセス番号と電話番号の間に[*]をダイヤルしてください。
- ④ 電話番号として登録できるダイヤルは“1”～“9”と“0”です。“*”はポーズになります。また、登録できる桁数は、7～8あわせて最大46桁ですが、表示付ポケットベル対応のメッセージを12桁登録する場合は、電話番号も最大12桁です。

3 ポケットベルへのメッセージを登録する(表示付ポケットベル対応)

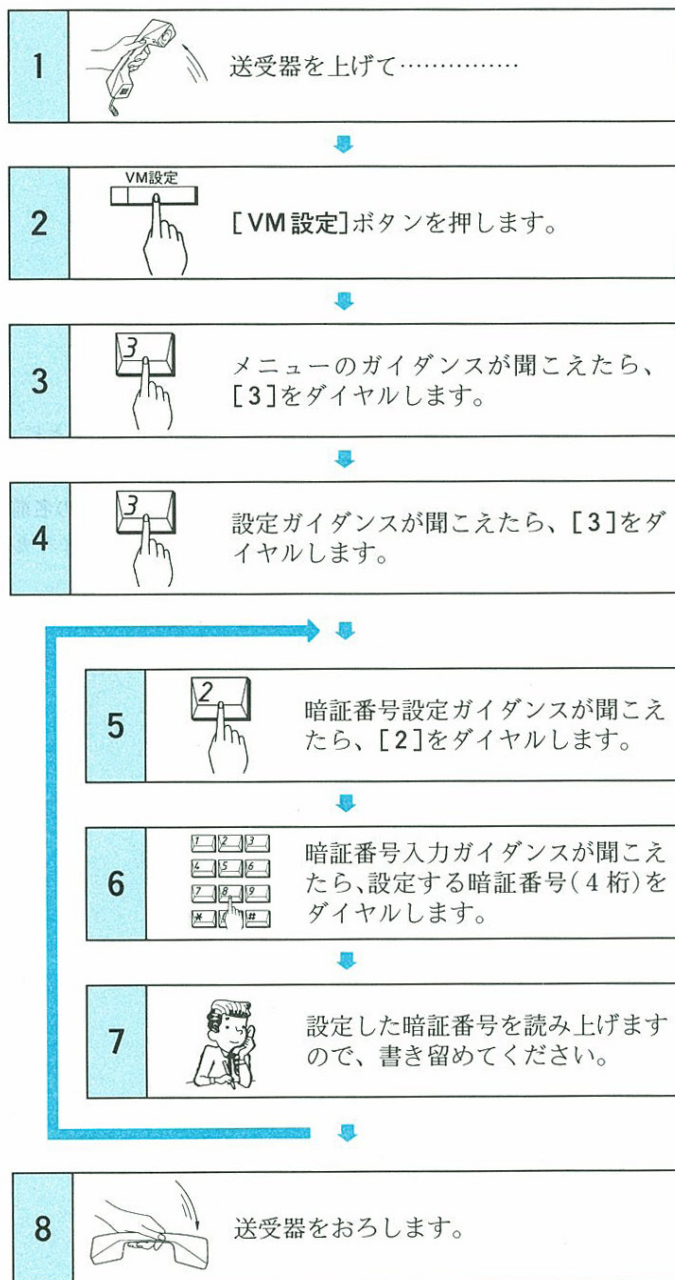
●呼出方法の設定 (1) の 5 の操作に引き続き、以下の操作を行います。



備考

- ① 7の操作でメッセージとして登録できるダイヤルは“1”～“9”と“0”です。また、登録できる桁数は最大12桁までです。
- ② 7の操作で12桁(最大桁数)の登録を行ったとき、8の操作は省略します。

G. 暗証番号の設定



備考

- ①暗証番号を設定している場合は、**②**の操作のあとに、暗証番号(4桁)をダイヤルします。
- ②複数の人(電話機)で共有している録音ボックスに暗証番号を設定するときは、**③**の操作の前に[*]をダイヤルしてから、ボックス番号をダイヤルしてください。指定した録音ボックスに暗証番号が設定されている場合は、ひきつづき暗証番号(4桁)をダイヤルします。

備考


暗証番号の設定を取り消すときは、**⑥**の操作で、“0000”を設定します。

注意


暗証番号を設定しますと、録音内容の再生や(暗証番号の設定を含む)各種設定操作をするときに、暗証番号の入力が必要になります。必ず、覚えておいてください。

H. 名前の録音


1 自分の録音ボックスに名前を録音する

1  送受器を上げて……………




2  [VM 設定] ボタンを押します。




3  メニューのガイダンスが聞こえたら、
[0]をダイヤルします。




4  開始音が聞こえたら、名前を録音してください。



5  名前を言い終わったら、すぐに、[1]をダイヤルして、録音内容を確認します。



6  送受器をおろします。






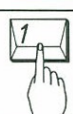




備考

- ①暗証番号を設定している場合は、②の操作のあとに、暗証番号(4桁)をダイヤルします。
- ②複数の人(電話機)で共有している録音ボックスの名前を録音するときは、③の操作の前に[*]をダイヤルしてから、ボックス番号をダイヤルしてください。指定した録音ボックスに暗証番号が設定されている場合は、ひきつづき暗証番号(4桁)をダイヤルします。

備考

- ⑤の操作のあとに③の操作に戻って、録音し直すこともできます。

② 伝言同報のグループ名を録音する

1		送受器を上げて……………
2		[VM設定]ボタンを押します。
3		メニューのガイダンスが聞こえたら、 [4]をダイヤルします。
4		ガイダンスに従って、[5]をダイヤルし ます。
5		ガイダンスが聞こえたら、グループ 名を録音する同報ボックスのボック ス番号をダイヤルします。
6		操作ガイダンスが聞こえたら、 [1]をダイヤルします。
7		開始音が聞こえたら、グループ名 を録音します。
8		録音し終わったら、すぐに、[1] をダイヤルして、録音内容を確認 します。
9		宛先の登録が終わったら、[*]をダ イヤルします。
10		送受器を下ろします。

備考

伝言同報のグループ名を録音できる電話機は、あらかじめ決められた特定(通常、内線番号201)の電話機です。

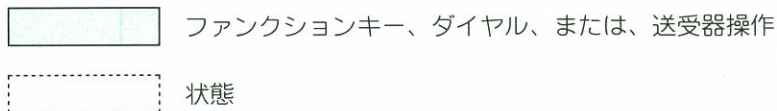
備考

自分の録音ボックスに暗証番号(19ページ)を設定している場合は、③の操作の前に、暗証番号をダイヤルしてください。

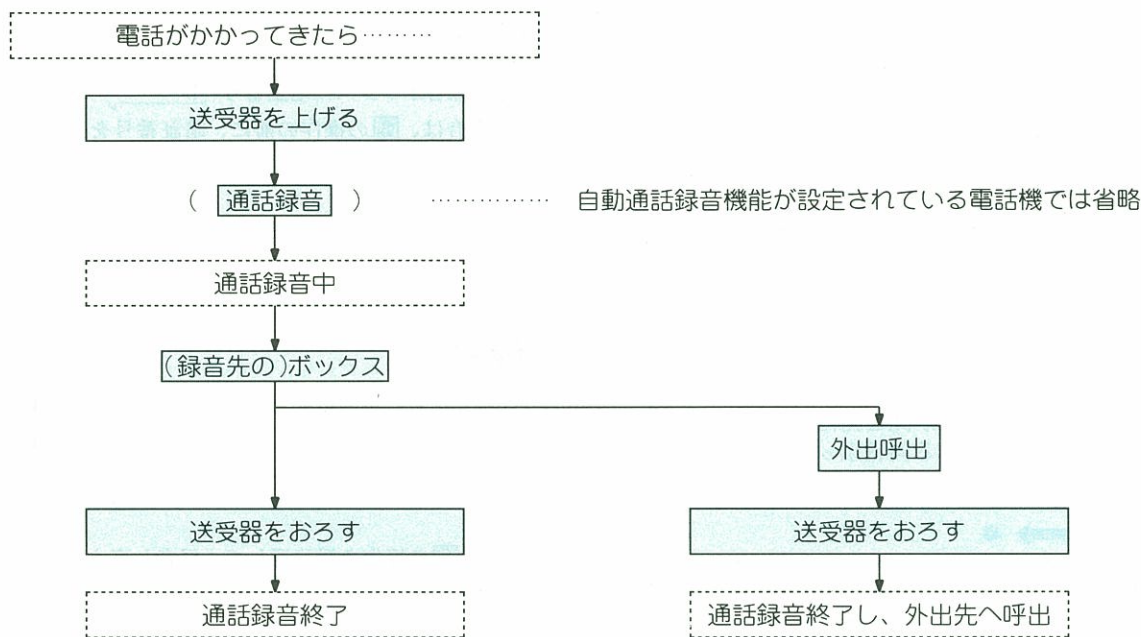
備考

- ①ご使用になれる同報ボックスの番号は、通常“001”～“020”ですが、システムによって異なる場合がありますので、お買い求めの販売店におたずねください。
- ②⑥～⑧の操作を繰り返して、録音し直すことができます。
- ③複数の同報ボックスのグループ名を録音するときは、⑨の操作のあと⑤の操作に戻ってください。

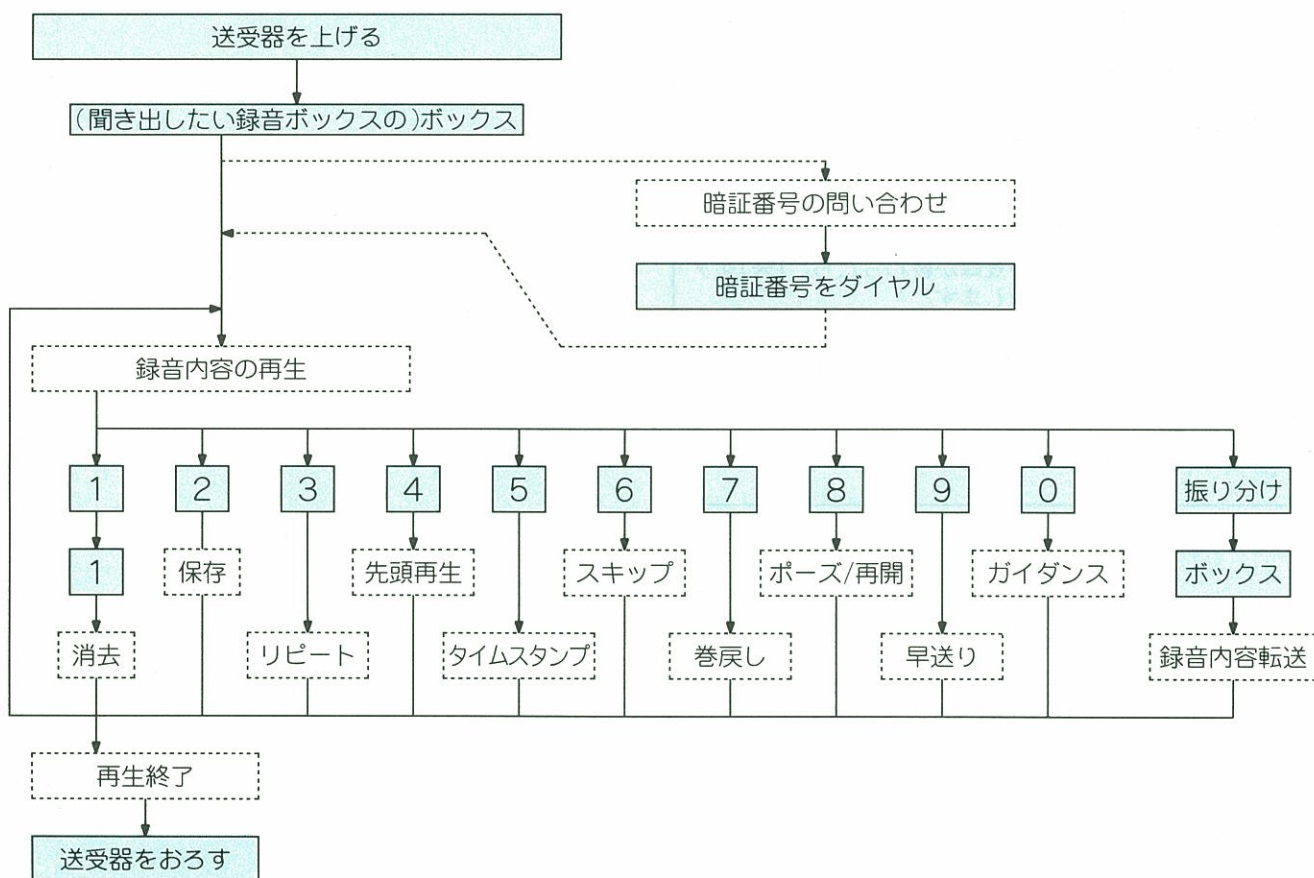
5. 操作一覧



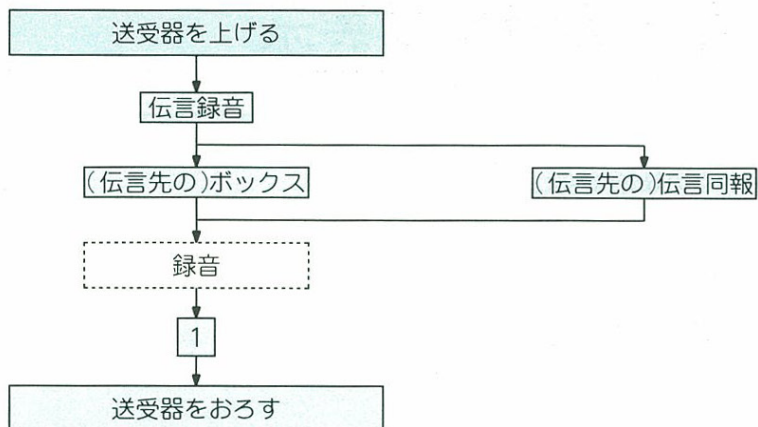
1 通話録音



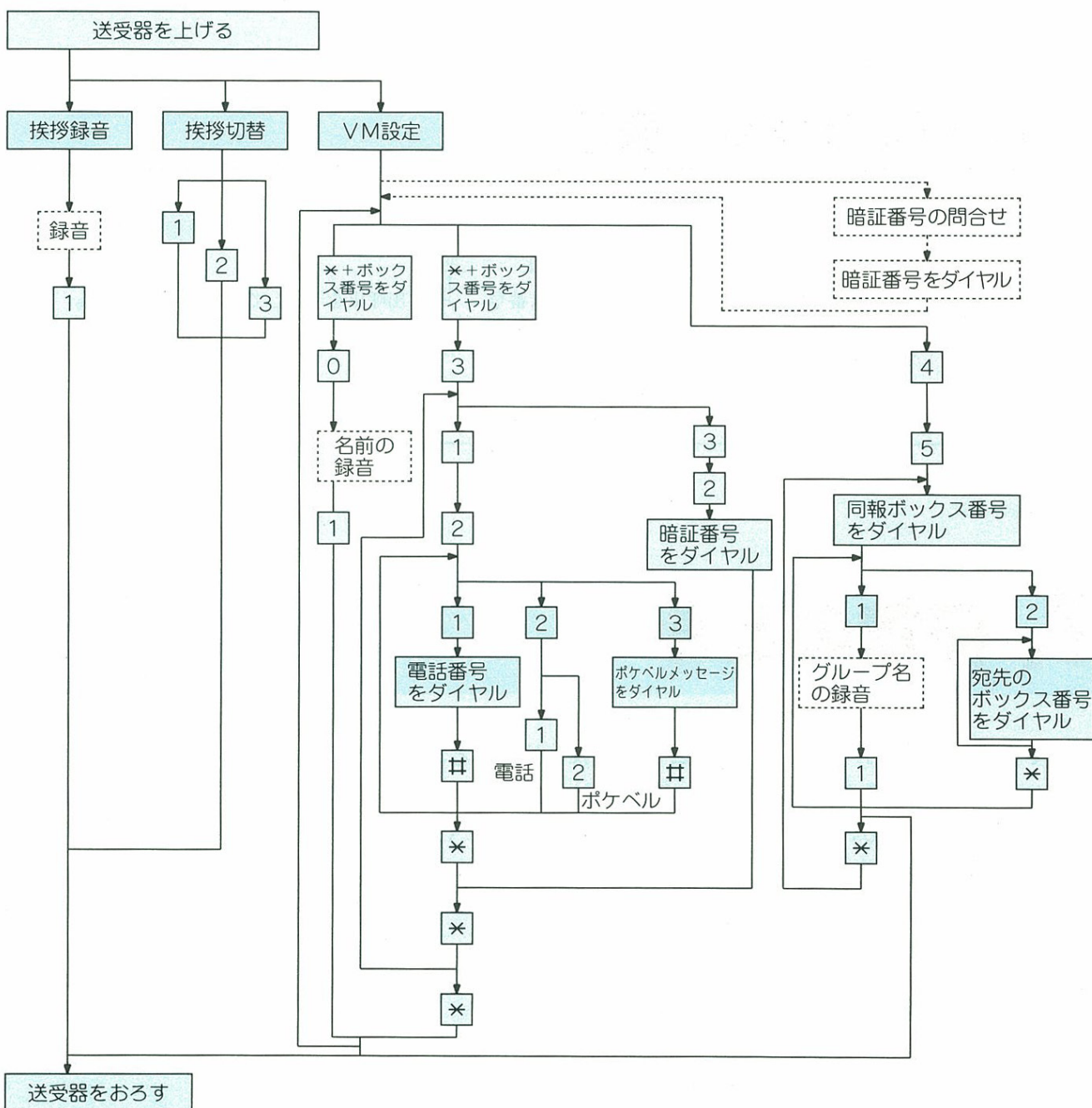
2 録音内容再生



3 伝言録音



4 各種設定



6. 表示一覧

A. ファンクションキーのランプ表示

ファンクションキー	ランプ	状態
[ボックス]ボタン	消灯	録音ボックスの録音内容は全て聞き取り済み。
	点灯	録音ボックスに聞いていない録音内容があります。
	点滅	通話録音の録音先を示しています。
[外出呼出]ボタン	消灯	通話録音は、録音されるだけです。
	点灯	通話録音を録音ボックスに入れた後、外出先を呼び出します。
[留守番]ボタン	消灯	通常モードです。
	点灯	留守モード(外からかかってきた電話を伝言センタが受けます)
[通話録音]ボタン	消灯	録音していません。
	点灯	録音中です。

B. ディスプレイ表示

状態	表示内容
通話録音中	ロクオンチュウ #201 M 録音先ボックス番号 外出呼出を予約しているときに出来ます。
録音メモリ不足	ロクオンメモリカゝワスゝカテゝス
全使用中	VMLセツゾゝクカイセンBUSY

伝言システムとしての表示は、ディスプレイの下段に表示します。

7. 停電のとき

岩通マルチコミュニケーションシステムEVDSは、停電のときでもバッテリーによって、一定時間、通電時と同じように使用できますが、伝言システム(とりつぎじょゝず)は、停電中の動作ができません。

このため、停電中でも、一定時間、電話としてお使いいただくことはできますが、伝言システム(各種録音/再生機能)はお使いいただけませんので、あらかじめご了承ください。

尚、停電時の電話の使用方法については、岩通マルチコミュニケーションシステムEVDSの取扱説明書をご覧ください。

8. 故障とお考えになる前に

① 電話機が使えないとき

- システムコントローラ（EVDS 主装置）電源スイッチ、または、AC コンセントのブレーカが、切れていませんか。
- 電話機のケーブルが、コネクタから抜けていませんか。

② 録音できない（[通話録音]ボタンのランプが点灯しない）とき

- 伝言システム本体の電源スイッチ、または、AC コンセントのブレーカが、切れていませんか。
- 録音メモリが、残り少なくなっていないですか。（電話機の表示器に「ロクオンメモリカ`ワス`カデ`ス」と、表示されていませんか。）
この場合は、録音ボックスに入っている録音内容を聞き出し、消去してください。
また、夜間に伝言システム本体の電源スイッチが切られていると、録音メモリが残り少なくなり易くなります。
- システムコントローラ（EVDS 主装置）と伝言システム本体の間の回線が、全て使用中ではありませんか。（電話機の表示器に「VMLセツゾ`クカイセンBUSY」と、表示されていませんか。）

③ 録音内容を聞き出せないとき

- システムコントローラ（EVDS 主装置）と伝言システム本体の間の回線が、全て使用中ではありませんか。（電話機の表示器に「VMLセツゾ`クカイセンBUSY」と、表示されていませんか。）

注意

伝言システム本体の電源スイッチを切る場合は、必ず以下の操作を行ったあと、約1分間お待ちになってから、電源スイッチを切ってください。

システムの各種設定を行う電話機（通常、内線番号201の電話機）で、

- ①送受器を上げて、**VM設定** ボタンを押します。
- ②暗証番号を設定している場合は、暗証番号（4桁）をダイヤルします。
- ③ガイダンスに従って、**4 9**の順にダイヤルします。
- ④**1 2 3 4 5 6 7 8 9 0**の順にダイヤルします。
- ⑤確認ガイダンスが聞こえたら**1**をダイヤルします。（システムは停止します。）

（このとき✕をダイヤルすると、システムは停止しません。）

以上の操作を終えたあと、約1分間待ってから、電源スイッチを切ります。

（この後、伝言システム本体の電源を入れるときは、EVDS 主装置の電源も再投入してください。）

仕様

寸法	(高) 334 mm (幅) 180 mm (奥行) 457 mm [ダングレー含む]
重量	約10 Kg
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大 40 W
接続回線数	4 回線 (最大 8 回線)
最大録音時間	約10時間
録音ボックス数	最大 9999 個
同報ボックス数	最大 60 個
メッセージ数	最大 999 個 / 1 ボックス

ご注意

- 通話している人に無断で通話録音することは、プライバシーの侵害になる場合があります。通話録音機能は、通話している人にお知らせした上で、ご使用ください。
- 本製品の故障、誤動作、または、停電などの外部要因で正常に機能しなかったことによる通信内容の損害、もしくは、付随的損害につきましては、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
 - ・ 伝言システム側に録音容量の空きがない等の場合、録音できないことがあります。
 - ・ 伝言システム側に接続回線の空きがない等の場合、再生できないことがあります。
 - ・ 通話の音量が小さい場合など、各種録音が途中で終了することがあります。
 - ・ 外出先への呼出し機能は、発信できる空き回線がない等で、呼び出せない場合があります。

この装置は、第一種情報処理装置(商工業地域において使用されるべき情報処理装置)で商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。

従って、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本品は、外国為替及び外国貿易管理法の規定により、戦略物資(又は役務)に該当しますので、輸出する場合は、日本政府の輸出許可が必要です。